

平成27年度

社会福祉法人緑友会 事業報告

- I 法人本部
- II みどり園 [指定障害者支援施設・短期入所事業・地域生活支援事業・レスパイト事業]
- III 清川ホーム [指定障害者支援施設・短期入所事業・地域生活支援事業]
- IV 伊勢原ふたば保育園 [認可保育所・地域育児センター事業]
- V 本厚木ふたば保育園 [認可保育所]
- VI げんき家 [共同生活援助事業]
- VII つくし [就労継続支援B型事業]
- VIII アトリエ ヴェルデ [就労継続支援B型事業]
- IX つくし相談室 [相談支援事業]
- X 施設間連携室

自 平成27年4月 1日

至 平成28年3月31日

## I 法人本部

### 【総括】

平成27年度は、新たな社会福祉法人会計基準への移行初年度として適正な会計処理に努め、経理面・事務面での改善が図られるとともに、以前にも増して明瞭な経理が実現できました。

ハード面では、みどり園既存棟改修(第2期・第3期)工事を施工し、利用者の居室及び厨房の改修、特別浴室の整備など順調に進展することができました。また(仮称)成瀬スタジオについても、行政と開発工事の事前相談等を進めるとともに、建物の設計も業者に委託して具体的な設計作業を進めるなど順調に進展することができました。

ソフト面では、建物管理や労務、税務に関してコンプライアンスパートナーによるチェックを行うなど法令遵守の面で拡充を図ったほか、福利厚生事業の拡充、法人のホームページ内にリクルートページを開設するなど、職員処遇面の向上や人材確保に努めてきました。また、平成27年が法人設立35周年に当たるため、施設又は部門ごとにそれぞれ独自の記念事業を開催し、利用者や園児と一緒に法人設立35周年を祝いました。

このほか、代表者会議、広報戦略会議、処遇改善検討委員会などの従来からの法人内部会議を定例的に開催することにより情報共有や課題解決を図るとともに、法人広報の発行により情報発信をしてまいりました。

法人本部及び各施設・事業所が掲げた平成27年度の課題は、保育園での地域の子育て支援や就労継続支援B型事業所での平均工賃の向上など一部で未達成な課題もありましたが、そのほかのみどり園の既存棟改修工事の安全面確保、清川ホーム利用者の体力維持増進、保育園の子ども・子育て支援制度への対応、つくしの利用者の一般企業への就労、つくし相談室の相談件数急増への対応などは達成できており、利用者に対する支援の充実・向上や円滑な法人運営に資することができました。

### 1 評議員会

平成 27年 5月 26日

#### 【議案】

- ・平成26年度事業報告について
- ・平成26年度決算報告について

#### 【報告事項】

- ・(仮称)成瀬スタジオの埋立てについて
- ・みどり園既存棟第2期改修工事について

平成 27年 10月 27日

#### 【議案】

- ・平成27年度補正予算(第1号)について

#### 【報告事項】

- ・今年度の財政状況と今後の見通しについて

平成 28年 3月 29日

#### 【議案】

- ・平成28年度事業計画について
- ・平成28年度予算について
- ・定款の一部改正について
- ・理事の選任について
- ・監事の選任について

#### 【報告事項】

- ・(仮称)成瀬スタジオの進捗状況について
- ・総務局長及び総務部長の人事について

## 2 理事会

平成 27 年 4 月 28 日

### 【報告事項】

- ・平成27年度スタート
- ・みどり園既存棟改修工事(2期:調理室・2階居室)について
- ・みどり園・清川ホームの食費等給付費の減額について
- ・『今年度の課題』に対する評価(前回理事会でのご意見)について
- ・選挙に関する報告(評議員の2県議を再選)
- ・みどり園でのお祓いについて
- ・決算見込みについて

平成 27 年 5 月 27 日

### 【議案】

- ・平成26年度事業報告について
- ・平成26年度決算報告について
- ・金融機関からの借入(6月賞与支給等に係る一時借入金)について

### 【報告事項】

- ・金融機関からの借入(みどり園既存棟第2期改修工事)について
- ・(仮称)成瀬スタジオ埋立工事の開始について
- ・新採用職員の勤務評価について

平成 27 年 6 月 24 日

### 【議案】

- ・評議員の委嘱について

### 【報告事項】

- ・6月1日時点での入所者・園児等の状況について
- ・みどり園既存棟改修工事(2期:調理室・2階居室)について
- ・利用者の入院等について
- ・(仮称)成瀬スタジオの状況について
- ・伊勢原市との福祉避難協定に係る法人内検討会について
- ・パート職員の募集について
- ・職員の退職について

平成 27 年 8 月 26 日

### 【議案】

- ・高森開発行為((仮称)成瀬スタジオ)に係る設計及び諸申請業務の随意契約について

### 【報告事項】

- ・8月1日時点での入所者・園児等の状況について
- ・(仮称)成瀬スタジオの現状について
- ・公益財団法人中央競馬馬主社会福祉財団の平成27年度助成決定について
- ・マイナンバー制度導入に向けての準備について
- ・保育園実習申込について
- ・各施設の夏の行事の開催状況について
- ・子育て支援、障害者支援の新制度移行に伴う補助制度等の混乱について

平成 27 年 9 月 30 日

【議案】

- ・(仮称)成瀬スタジオ新築設計委託業務の入札について
- ・今年度の財政状況と今後の対応について
- ・運転資金の安定のための新たな借入体制について
- ・金融機関からの借入金借り換えについて
- ・利益相反行為及び双方代理事項にかかる理事長職務代理者の選任について

【報告事項】

- ・県の指導監査、実地監査の実施について

平成 27 年 10 月 28 日

【議案】

- ・平成27年度補正予算(第1号)について

【報告事項】

- ・保育園に対する県実地監査の結果について
- ・(仮称)成瀬スタジオ用地の半分を売却することについて

平成 27 年 11 月 25 日

【議案】

- ・特定個人情報取扱規程の制定について

【報告事項】

- ・(仮称)成瀬スタジオ新築設計委託業務の契約締結について
- ・神奈川県の実地監査・実地指導の結果速報について
- ・11月1日時点での入所者・園児等の状況について
- ・成瀬スタジオの状況について
- ・借入の実施について
- ・みどり園利用者の事故について
- ・職員交流会の開催について
- ・後藤祐一衆議院議員の本厚木ふたば保育園視察について
- ・清川ホームでのお祓いについて
- ・広報第25号の発行予定について
- ・職員現況等調査の実施結果について

平成 27 年 12 月 22 日

【議案】

- ・実地指導の指導事項に対する改善について

【報告事項】

- ・指導監査の結果に対する改善について(法人運営)
- ・実地指導の結果に対する改善について(つくし・アトリエヴェルデ)
- ・指導監査の結果について(保育園)
- ・社会福祉法等の一部を改正する法律案について
- ・保育園でのコマ回し指導のお礼について

平成 28 年 1 月 27 日

【報告事項】

- ・平成28年1月1日時点での入所者・園児等の状況について
- ・成瀬スタジオの状況について
- ・職員交流会の開催結果について
- ・広報第25号の発行について
- ・職員確保の見通しについて
- ・源泉徴収票の配布について
- ・マイナンバー提出の協力依頼について

平成 28 年 2 月 24 日

【議案】

- ・借入金の連帯保証人変更について

【報告事項】

- ・1月1日時点での入所者・園児等の状況について(修正)
- ・平成28年4月1日付けの改正点について
- ・新たに管理職に昇格する職員について
- ・平成28年度理事会の開催日程案について

平成 28 年 3 月 30 日

【議案】

- ・平成28年度事業計画について
- ・平成28年度予算について
- ・定款の一部改正について
- ・評議員の委嘱について
- ・顧問の委嘱について

【報告事項】

- ・(仮称)成瀬スタジオの進捗状況について

### 3 代表者会議

理事長、理事長職務代理者、長塚顧問、総務部長、各施設長を構成員として、毎月(年12回)開催。法人全体に係わる問題・課題等についての協議のほか、各施設の主な課題等についての協議や事業の報告等を行い、法人全体で共通認識や意思統一を図った。

### 4 広報戦略会議

理事長、理事長職務代理者、顧問、担当理事、広報担当1名、総務部担当職員2名を構成員とし、年間7回の会議を開催。広報誌の内容、各施設ホームページの修正及び基本資料(パンフレット)の作成、事業報告の作成などに関して協議を行った。

- ・基本資料作成  
法人本部、みどり園、伊勢原ふたば保育園、本厚木ふたば保育園
- ・ホームページの修正  
求人サイトのリニューアル
- ・道灌まつり用の顔出し看板の作成
- ・年賀状の作成
- ・伊勢原スタジオ正面玄関前パネル展示用ポスター作製
- ・各施設の事業報告書の作成
- ・広報紙「福祉の輪 拡げたい」  
第24号(7月発行):[特集]緑友会 法人設立35周年・NEWS(14)・ピックアップ(4)・もろさんが行く(3)  
第25号(1月発行):[特集]行政との連携、更に強く・NEWS(13)・ピックアップ(4)・もろさんが行く(4)

### 5 処遇改善検討委員会

例年、職員から提案された職員の処遇に係る改善項目について検討を行っており、9月に実施した職員現況等調査で多くの改善要望等を改善したが、職員の増員希望、運転手当の上限廃止、設備や備品の更新希望等、多額な費用や長期的展望が必要な処遇改善の検討については、子育て支援と障害者支援の制度変更に伴う補助制度が改正され、財政見通しが不透明なことから、今年度は開催を見送った。

## 6 表彰委員会

代表者会議の構成員により年1回開催。永年勤務者の表彰について協議を行った。

- ・永年勤務者表彰  
30年表彰 1名 20年表彰 2名
- ・表彰日 平成28年3月24日(法人設立日)

## 7 医療担当者会議

看護師3名を構成員とし、月1回開催。利用者及び職員の健康管理・疾病予防対策等について協議し、その対応を図った。

検討項目

- ・各施設の感染症罹患状況の報告及びその対策について
- ・職員健康診断について
- ・メンタルヘルス対応について
- ・高齢者対応について
- ・除菌洗浄水生成器の検討及び導入について

## 8 職員交流検討委員会

平成26年度に引き続いて職員交流検討委員会を組織し、法人全体の職員交流会を開催した。当日は、ゲームやクイズ等で盛会に開催した。

- ・内容 懇親会(会場:レンブラントホテル厚木)
- ・委員長 新實正樹(つくし施設長)
- ・開催日 平成27年11月6日(金) 午後7時から
- ・参加者 80名(職員73名、家族7名)

## 9 調理担当者会議

食事提供をしている施設の調理員5名、総務部1名を構成員として年4回開催。職場での課題や問題点の協議や意見交換を行い、より一層の安全・安心な食事提供及び衛生面に配慮した調理業務に向け改善を図った。

検討項目

- ・食中毒対策について
- ・厨房、食堂の衛生管理について
- ・メニュー拡充のための施設間のメニュー交換
- ・行事食について
- ・施設間の情報交換
- ・異物混入を避けるための調理器具について

## 10 栄養士会議

栄養士2名、調理員1名を構成員とし、年2回開催。職場での課題や問題点の協議や意見交換を行い、栄養管理業務の改善を図った。

検討項目

- ・食材費の節減について
- ・災害時のメニューや非常食の把握について
- ・各施設間の情報交換

## 11 福祉避難協定に関する検討会議

みどり園が伊勢原市と「災害時における福祉避難所としての施設使用等に関する協定書」を締結したことに伴い、みどり園施設長・副施設長、清川ホーム施設長・副施設長で災害時における障害者の受入れについての具体的な行動計画案の策定について検討した。

検討項目

- ・災害発生時の被災障害者支援に関する両施設の協力体制について

## 12 衛生管理点検

衛生管理委員(非常勤特別職員)により、給食を提供している5施設の調理場、食品庫、食堂等の衛生管理点検を月1回以上、随時かつ抜き打ちで実施し、結果を理事長はじめ関係者に報告するとともに、指摘事項については各職場で改善の取り組みを行った。

実施施設

・みどり園 ・清川ホーム ・伊勢原ふたば保育園 ・本厚木ふたば保育園 ・つくし

## 13 施設整備等

- ・みどり園既存棟改修工事(第2期工事・第3期工事)
- ・(仮称)成瀬スタジオ用地の開発設計業務及び建築設計委託業務

### 平成27年度の課題に対する自己評価

みどり園既存棟の改修を引き続き進めるほか、(仮称)成瀬スタジオ用地のより具体的な土地利用計画を策定するとともに、法令遵守体制の拡充や新たな会計基準による経理規程に基づく適正な会計処理を執行しています。

また、各施設での事務執行における課題を精査し、より効率的な事務処理をめざすとともに、職員の勤務体制や福利厚生面での拡充を図り、就労環境の整備を図ります。

⇒ 法令遵守体制の拡充や新たな会計基準による経理規程に基づく適正な会計処理、各施設の効率的な事務処理などが順調に改善できたため、予算の執行管理や財政状況の把握が格段と透明性を増しました。つくし相談室では増え続ける相談により時間外勤務が多かった現状を、体制等の見直しにより大幅な改善を達成しました。

⇒ 法人全体の財政状況は、新規事業所(本厚木ふたば保育園・アトリエ ヴェルデ)開設等による平成25・26年度の赤字決算は想定内であり、平成27年度予算では保育園の認可取得や良好な予算見通しにより、平成27年度の課題としては掲げませんでした。予想外の補助金等の削減や利用者の入院の激増、見込んでいた利用者数の未到達等により、残念ながら平成27年度も支出超過を避けられず、3年連続の赤字決算が見込まれます。

#### ① ハード面の環境整備

##### ①-1 みどり園既存棟の改修工事(継続)

⇒ 平成26年度の第1期改修工事に引き続き、第2期改修工事として既存棟2階女性棟の居室及び厨房の改修工事、第3期改修工事として既存棟2階男性棟の居室及び特別浴室の改修工事を実施し、それぞれ完了した。

##### ①-2 (仮称)成瀬スタジオの開発及び施設整備計画の策定

⇒ 開発行為に係る設計及び諸申請業務、新築設計委託業務のそれぞれを入札して業者と契約し、具体的な作業に入った。

##### ①-3 伊勢原ふたば保育園の外壁及び屋上防水改修の必要性診断

⇒ 専門家に依頼し、気になる『ひび割れ』の状況等を調査してもらったところ、剥離等がなく早急な改修の必要性はないとのことであった。

#### ② ソフト面の環境整備

##### ②-1 法令遵守体制の推進

⇒ 建物等に係る建築基準法や消防法等の法令遵守、労務に係る労働基準法等の法令遵守を目的にコンプライアンスパートナーに業務委託をして、各施設や事業所の実地調査等を実施した。

②-2 資格取得等制度の検証

⇒ 新たな手当支給対象資格の検討を予定していたが、財政状況を鑑みて、今年度の資格手当検討委員会の開催は見送ることとした。

②-3 職員交流会の継続検討

⇒ 職員交流検討委員会で交流会の開催について検討した結果、平成27年11月6日(金)に2回目の交流会を厚木レンブラントホテルで開催した。

②-4 福利厚生事業の拡充

⇒ 旅行や食事等の福利厚生費の支給額を30%増額したほか、会員制による福利厚生サービスの利用も事業の対象とした。

②-5 施設間連携のより一層の推進

⇒ 施設間連携室の専従職員を配置し、他の施設からの要望に対して即応できる体制としたことで様々な連携が可能となり、より一層の推進ができた。

②-6 法人設立35周年記念事業(施設及び部門ごと)の実施

⇒ 各施設・事業所ごとに、一泊旅行、食事会、記念品の配布等、それぞれ特色ある記念事業を実施した。



## II みどり園

### 1 指定障害者支援施設 みどり園

#### (1) 利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
在籍数	69	69	68	68	66	67	68	68	67	67	68	68
入所	0	0	0	0	1	1	0	0	0	1	0	0
退所	0	1	0	2	0	0	0	1	0	0	0	1
通所	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
26年度 在籍数	69	69	69	68	69	69	69	68	69	69	69	69

#### (2) 行事

4月	1日	開園記念式
7月	4日～5日	平塚七夕
7月	26日	サマーフェスティバルin清川ホーム
8月	20日	ふれあいチャリティーコンサート
8月	22日	納涼祭
9月	5日	向上高校こゆるぎ祭
9月	17日～18日	一泊旅行(石和温泉)
10月	1日～2日	一泊旅行(三保はごろも温泉)
10月	23日	チャリティーきゃらばん観劇鑑賞
10月	31日	地引網
11月	3日	バザー
11月	27日	日帰り旅行
11月	29日	ミカン狩り
12月	3日	ふれあいチャリティーコンサート
12月	16日	クリスマスチャリティー観劇鑑賞
12月	18日	法人設立35周年記念事業・クリスマス会
12月	23日	向上高校チャリティーコンサート・もちつき大会
1月	12日	新年会

#### (3) 防災

日 時	訓練種別	訓練状況
4月 27日 9:35～	避難訓練 (日中火災想定)	2階男性棟洗面所より出火想定で訓練を行った。
6月 1日 9:30～	避難訓練 (日中地震想定)	緊急地震速報を想定して訓練を行った。
6月 22日 9:35～	避難訓練 (日中火災想定)	1階第2支援員室より出火想定で訓練を行った。
7月 27日 9:30～	避難訓練 (日中地震想定)	緊急地震速報を想定して訓練を行った。
9月 1日 10:00～	防災訓練 (地震警戒宣言発令想定)	避難訓練後、炊き出しを行い、火災訓練、担架による搬出訓練を行った。
9月 28日 9:30～	避難訓練 (がけ崩れ想定)	職員のがけ崩れに対する意識は向上してきているため、利用者へ避難の必要性を周知した。

11月 4日 9:35～	避難訓練 (日中火災想定)	大型洗濯室より出火想定で訓練を行った。
1月 20日 9:30～	避難訓練 (日中火災想定)	1階男性静養室より出火想定で訓練を行った。
1月 25日 9:30～	避難訓練 (夜間地震想定)	緊急地震速報を想定して訓練を行った。利用者を園庭に直接避難誘導した。
2月 8日 9:30～	避難訓練 (日中火災想定)	2階男性洗面所より出火想定で訓練を行った。
3月 9日 13:30～	総合訓練 (夜間火災消防立会い)	夜間に2階女性洗面所より出火想定で訓練を行った。夜勤者2名の時間帯を想定し訓練を行った。

・業者による年2回の定期防災機器点検に加え、自主点検も実施した。

#### (4) 広報

「園だより」を3回発行した。

- ・第161号(6月13日発行) 新年度あいさつ・開園記念日・神奈川県障害者スポーツ大会・職員紹介・調理場の改修工事・居室の改修工事報告
  - ・第162号(11月7日発行) 納涼祭・伊勢原市障害者スポーツ大会・防災訓練・一泊旅行・トピックス
  - ・第163号(3月12日発行) バザー・日帰り旅行・35周年記念事業クリスマス会・向上高校行事・医務室より・居室の改修工事・特別浴室の工事報告
- 常設記事      グループ便り      フォトギャラリー      お知らせ      編集後記

#### (5) 権利擁護、本人活動支援

##### ① 利用者自治会

年間7回開催。旅行・納涼祭等の行事について話し合ったほか、要望や困ったことなどについて意見が出された。

##### ② 人権委員会

年2回アンケート実施。利用者の呼称・利用者への情報提供・プライバシーの保護・インフォームドコンセントについて話し合った。

#### (6) 職員研修

日時	研修種別	研修内容
5月 22日 13:45～	防災研修 防災に係る説明	防災マニュアルを使用し、各種機材の使用方法や各種災害について学んだ。
6月 8日 13:30～	新人研修:障害者総合支援法の内容 講師:つくし相談室柳田室長	柳田室長を講師に迎え、新人職員を対象とした、障害者総合支援法の内容について学んだ。
7月 27日 13:45～	介護研修 てんかん発作とその対処法	てんかん発作のメカニズムとその対処方法を学んだ。
11月 16日 13:30～	介護研修 正しいオムツの当て方	正しいオムツの当て方を業者を迎え学んだ。
11月 24日 13:30～	障害者差別解消法の理解 講師:岡西 博一氏	障害者差別解消法概要を押さえながら、障害のある方々への関わりや支援について講師を迎え学んだ。
2月 8日 17:00～	障害者施設における権利擁護 講師:平本 譲氏	利用者と支援者、いずれもが人としての権利を守られる、プロフェッショナル職員集団を目指して講師を迎え学んだ。

## 2 その他の事業

### (1) 短期入所事業

年間 延べ人数 97人 延べ利用日数 340日 (平成26年度 92人 410日)

### (2) 地域生活支援事業【公益事業】

#### (日中一時支援事業)

年間 延べ人数/日 780人/日 (平成26年度 865人/日)

#### (余暇活動支援事業)

年間 延べ人数/日 20人/日 (平成26年度 24人/日)

### (3) レスパイト事業【公益事業】

項目	27年度				26年度 合計	単位	
	夏期	冬期	春期	合計			
実利用人数	39	19	17	75	85	人	
延利用人数	261	50	44	355	373	人	
延利用時間	1,751	332	290	2373	2,503.5	時間	
利用があった日数	42	5	5	52	52	日	
土日休日利用	12	1	1	14	13	日	
一日平均利用人数	6.2	10	8.8	25	27.5	人	
最多利用者の利用日数	26	5	5	36	40	日	
昼食利用者	実人員	26	11	8	45	58	人
	延人員	163	30	21	214	216	人
送迎利用者	実人員	22	13	12	47	59	人
	延人員	145	36	30	211	258	人
年齢	平均 男/女	17.7・16.1/17.3	15.6・13.0/15.2	17.5・18/13.5	—	—	歳
	最小/最高	6/38	7/39	8/39	6/39	6/38	歳
所属	養護学校	11	8	8	27	18	人
	特別支援学級	14	7	5	26	39	人
	施設等	3	1	1	5	11	人
	ドリーム	2	1	1	4	4	人
	ジャベル(株)	0	0	0	0	0	人
	すぎな会 通所	1	0	0	1	1	人
	デイ工房 花	2	0	0	2	2	人
	ロータス授産センター	1	1	0	2	3	人
	ロータス花水木	1	0	0	1	1	人
	オアシス湘南	1	0	0	1	1	人
	悠トピア	1	0	1	2	0	人
	平塚ふたば会	0	0	0	0	0	人
	あとり	0	0	0	0	1	人
	横浜低温流通株式会社	1	1	1	3	3	人
日立製作所	1	0	0	1	1	人	
支援員の状況(臨時職員)	45	23	20	88	93	人	

サービスメニュー

プール(夏期) ドライブ 散策 積み木  
ビデオ鑑賞 スタンプ画の旗作り など

夏期のみ

スポーツ広場のインストラクターと  
共同で行う。(成瀬小開催日のみ)

## 平成27年度の課題に対する自己評価

- 1 既存棟の改修工事については、引き続き工事関係者と連携して入所利用者のサービス提供維持に努める。  
また、調理室と居室の改修を行うので利用者の生活への影響を最小限にとどめるようにする。  
⇒ 調理室の改修工事は事前打ち合わせから予行演習を行ったので、スムーズな食事提供ができた。  
居室工事でも仮設間仕切り等を施すことで、入所利用者の生活への影響は最小限にとどめることができた。
- 2 伊勢原市レスパイトサービス事業は、熱中症等に注意するなど、より安全面に配慮した事業運営を心がける。  
⇒ 熱中症対策として、水分補給は欠かさず行い、安全面での配慮を重点的に行った。
- 3 作業日課に関しては、現在のグループ構成の見直しを行い、より一層のサービスの向上に努める。  
⇒ 利用者の体調悪化や事故による入院・退所などが多かったこと、及び調理室や居室等、利用者の生活に直結する部分の改修に入ったため見直すことができませんでしたが、グループ同士の連携を強め、サービスの向上には努めた。
- 4 法人設立35周年を記念した事業を実施する。  
⇒ 平成27年12月18日(金)、フォーラム246内パーティー会場にて、クリスマス会を行った。  
参加者総勢126名。

### Ⅲ 清川ホーム

#### 1 指定障害者支援施設 清川ホーム

##### (1) 利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
在籍数	53	53	53	53	53	53	53	53	53	53	52	52
入所	0	0	0	0	0	0	0	[1]	0	0	0	1
退所	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0
26年度 在籍数	51	51	51	51	52	53	53	53	53	53	53	53

[ ]は、1日付け入所人数

##### (2) 行事

5月 9日	ふれあいフェスティバル
7月 26日	サマーフェスティバルin清川ホーム22
8月 22日	みどり園納涼祭
9月 12日	手作り製品展示即売会
12月 16日	クリスマス会
1月 13日	どんど焼き
1月 26日	成人・敬老のお祝い

月例行事            みんなの会

グループレクリエーション

	一泊旅行
Aグループ	9月28日～29日 伊豆方面
BDグループ	10月19日～20日 群馬方面
Cグループ	10月29日～10月30日 群馬方面

##### (3) 防災

日 時	訓練種別	訓練状況
5月 12日 13:30～	避難訓練・消火訓練 (火災:夜間想定)	夜間2階廊下から出火を想定して避難訓練を行った。消火栓訓練も実施した。
6月 9日 9:00～	避難訓練・炊き出し訓練 (地震警戒宣言発令想定)	避難訓練後、炊き出しを行い非常食で昼食。清川村総務課職員との立会いのもと実施した。
7月 14日 13:30～	避難訓練・消火訓練 (火災:夜間想定)	利用者に避難訓練の意識が定着してきた。消火訓練も実施した。
8月 18日 13:30～	避難訓練・浄水訓練 (地震:夜間想定)	安全第一迅速な避難誘導を目的とした。浄水訓練も実施した。
9月 8日 13:30～	避難訓練・消火訓練 (火災:夜間想定)	スムーズに避難場所まで移動できた。消火訓練も実施した。
10月 6日 9:00～	避難訓練・炊き出し訓練 (地震警戒宣言発令想定)	避難訓練後、炊き出しを行い非常食で昼食。訓練終了後、反省会を実施し問題点を確認した。
11月 10日 9:00～	避難訓練・消火訓練 (火災:夜間想定)	落ち着いてスムーズな避難ができた。人員確認もスムーズに行えた。消火訓練も実施した。
12月 4日 13:30～	避難訓練・浄水訓練 (地震:夜間想定)	地震の訓練が、定着しつつある。浄水訓練も行った。
1月 12月 13:30～	避難訓練・消火訓練 (火災:夜間想定)	夜間2階廊下から出火を想定して避難訓練を行った。大雪に備え除雪機の操作訓練を行った。
2月 2日 13:30～	避難訓練・除雪機訓練 (地震:夜間想定)	地震の避難訓練後に、暴風雪対策として除雪機の運転操作及び点検を行った。
3月 10日 13:30～	避難訓練・消火訓練 (火災:夜間想定)	夜間3階事務室から出火を想定、スモークマシンを使用して避難訓練を行った。

業者による年2回の定期防災機器点検に加え、自主点検も実施した。

## (4) 広報

「清川ホームだより」を2回発行した。

第123号(9月26日発行)	サマーフェスティバル、日帰りレク行事報告他
第124号(3月26日発行)	一泊旅行、クリスマス会、各グループ反省、その他行事報告
常設記事	作業収益報告、お知らせ、編集後記

## (5) 権利擁護、本人活動支援

### ① あおぞらプラン(かながわ知的障害者権利擁護プラン)の取り組み

神奈川県知的障害施設団体連合会が定めた「あおぞらプラン」に沿って、清川ホームでの実践課題を4つの柱に整理し取り組みを進め、半期に一度まとめを行った。

(①生命の安全と健康を保障 ②人権を尊重 ③自己決定、本人の意思を尊重 ④プライバシーの尊重)

### ② 苦情解決(厚木地区オンブズマンネットワークの取り組み)

年間10回の相談会を実施。延べ36名の利用者が相談した。会議室をオンブズマン相談会に利用。相談者1人ひとり、順番に相談を行っている。相談内容については、改善や検討の必要に応じ、支援会議等で協議して対応した。

### ③ 生活改善委員会

施設全体の清掃、美化、季節感のある暮らしについて取り組んだ。

利用者アンケートにより、食事に希望メニューを取り入れたり、七夕飾りを作成したり、生活場面の改善を行った。

### ④ 本人活動支援

利用者の声を聞く会

年間12回実施。今年度も食事に関する希望が多く寄せられた。利用者間の関係、日頃の生活の問題など内容もバラエティに富んだものとなっている。資料を用意し、文字の情報も提供した。アンケート箱を設置したがあまり活用されていなかったため、代筆等のサポートも今後は検討していく。

## (6) 職員研修

毎月第2木曜日に職員研修を実施した。人権・権利擁護をテーマに施設内研修を2回実施。外部講師を招き、普通救命救急の講習を実施した。高齢化の対応として、オムツの正しい当て方など、研修報告を行った。

## 2 その他の事業

### (1) 短期入所事業

年間 延べ人数 86人 延べ利用日数 1,208日 (平成26年度 80人 1,123日)

### (2) 地域生活支援事業【公益事業】

(日中一時支援事業など)

年間 延べ人数・延べ利用日数 287人/年 (平成26年度 277人/年)

## 平成27年度の課題に対する自己評価

- 1 利用者の日中活動の充実を図り、体力面の維持増進、情緒の安定に取り組んでいく。  
⇒ 体力面のプログラムでは、ウォーキング、ラジオ体操を多用し、麻痺のある利用者さんには訪問リハビリマッサージを導入することにより運動機能改善、体力の維持増進に取り組んだ。受注作業の種類も増えて日中活動は充実した。
- 2 施設内外の研修を充実させ、職員一人一人の資質、能力の向上を図っていく。特に人権・虐待防止の為の研修は繰り返し行っていく。  
⇒ 施設内研修は年間を通して予定どおり行ったが、施設外研修は、下半期は職員の入院等様々な事情により行うことができなかった。人権・虐待防止のための研修は、人権について6月に研修を実施するとともに職員会議等の日常の場でも意見交換等を行った。
- 3 様々な状況を想定した中での防災訓練、防災体制の充実を図っていく。  
⇒ 大規模地震等の災害発生時における障害者への対応策等についてみどり園と協議を行った。避難訓練もパターン化しすぎているので、もう一つ上のレベルの訓練を行っていくことが重要と認識した。
- 4 新たな職員体制の中、チームワークを整え、サービスの低下とにならないよう職員一同努力していく  
⇒ 全体的にはひとつにまとまった職員体制で雰囲気もよかった。長期入院等いろいろ難しい状況になった利用者もいたが、事故等につながることはなかった。
- 5 法人設立35周年を記念した事業を実施する。  
⇒ 一泊旅行のなかで、食事のグレードアップや思い出のアルバム作りを行った。  
利用者51名 職員23名 保護者14名 計88名参加

#### IV 伊勢原ふたば保育園

##### 1 認可保育所 伊勢原ふたば保育園

###### (1) 平成27年度園児人数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
0才	8	8	8	9	9	9	9	9	9	9	9	9
1才	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18
2才	19	19	19	21	21	21	21	21	22	22	22	22
3才	22	22	22	21	21	21	21	21	22	22	22	22
4才	21	21	21	21	21	21	21	21	22	22	22	22
5才	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30
合計	118	118	118	122	122	122	122	122	124	124	124	124
26年度	112	115	116	116	115	114	114	114	114	114	113	118

###### (2) 行事

4 月	2 日	新入園児歓迎会	
	4 日	新年度保育説明会	
5 月	10 日	5歳児園外保育（芝桜見学）	
	22 日	5歳児園外保育（城ノ腰公園）	
	29 日	4歳児園外保育（城ノ腰公園）	
6 月	2 日	湘南けやきの郷との交流会	
	8 日	田植え体験	
	12 日	4・5歳児園外保育（あやめの里）	
7 月	23 日	不審者対応訓練	
	1 日	プール開き	
	7 日	七夕の集い	
	10 日	おたのしみ会（5歳児）	
9 月	18 日	夏まつり	
	4 日	引き渡し訓練	
10 月	3 日	運動会	
	9 日	稲刈り体験	
	15 日	芋ほり（4, 5歳児）	
	16 日	3歳児園外保育（防災の丘公園）	
	20 日	～22日	保育参観・懇談会
	26 日	～22日	ごみの分別収集等の環境教育
11 月	6 日	みかん狩り（4歳児）	
	16 日	高森荘との交流会（5歳児）	
12 月	5 日	リズム発表会	
	18 日	クリスマス会	
1 月	5 日	新年の集い	
	12 日	～15日	5歳児個人面談
	15 日	～15日	新春マラソン大会
	18 日	～22日	4歳児個人面談
	25 日	～29日	3歳児個人面談
	26 日	～29日	伝承遊び会
2 月	1 日	～ 5日	2歳児個人面談
	2 日	～ 5日	豆まき
	8 日	～12日	0, 1歳児個人面談
3 月	8 日	～12日	幼児交通安全教室
	3 日	～12日	ひなまつり
	4 日	～12日	卒園遠足（ズーラシア）
	8 日	～12日	お別れ会
	12 日	～12日	卒園式

※このほか、毎月、身体測定・誕生会を行う。



### (3) 防災

日時	訓練種別	訓練状況
4月7日 10:00	避難訓練 (火災想定)	年度初めの訓練に伴い、各クラスで避難について紙芝居等を通して学んだ。
5月7日 10:10	避難訓練 (地震・火災想定)	農道への避難。「おかしも」(※)の約束を守って避難することができた。(予告なし)
6月13日 12:00	避難訓練 (火災想定)	土曜日の異年齢での保育中の火災を想定して訓練を行った。(予告なし)
6月23日 10:10	避難訓練 (不審者対策)	保育士が不審者に変身し訓練を行った。不審者から子ども達を離し安全を確保した。(予告なし)
7月14日 14:00	避難訓練 (火災想定)	お昼寝中で、あわてたり、寝ぼけている子が安全に避難できるように対応した。(予告なし)
8月4日 15:00	避難訓練 (地震・火災想定)	予告なしでも落ち着いて避難し、余震も想定することで、職員・子ども達も緊張感を高めることができた。
9月4日 9:45	避難訓練 (地震、火災想定総合訓練)	5歳児を対象に広域避難場所(成瀬小学校)までの避難訓練を行った。
16:00～	引渡し訓練	避難訓練と同時に、16:00に職場・家庭からお迎えに来てもらい、保護者対応の引き渡し訓練を行った。最終は18:10の迎えであった。
10月5日 10:00	避難訓練 (台風・冠水想定)	台風で園の側の川が氾濫したことを想定した訓練であったが放送をよく聴き2階ホールに避難できた。(予告なし)
11月9日 15:45	避難訓練 (火災想定)	突然の火災発生でも放送をよく聴き、火災現場を把握し、適切な行動がとれた。(予告なし)
12月7日 16:10	避難訓練 (地震、火災想定)	延長時間保育時間中の災害発生を想定して訓練を行った。園内にいた保護者も参加した。
1月12日 11:00	避難訓練 (地震、火災想定)	「噴火」「火山灰」「溶岩流」についてパネルにし、子ども達もイメージしやすく話を聞くことができた。(予告なし)
1月19日 10:30	避難訓練 (不審者対応)	農道を散歩中に不審者に遭遇するという設定で訓練を行った。
2月4日 7:30	避難訓練 (火災想定)	早朝保育時間中の火災発生を想定して訓練を行った。園内にいた保護者も一緒に参加した。
3月23日 10:00	避難訓練 (地震想定)	全園児対象で、広域避難場所(成瀬小学校)まで避難することができた。避難車は使用せず、0歳児はおんぶで避難した。(予告なし)

### (4) 広報

- 園だより、クラスだより 毎月発行
- 保健だより 年4回発行
- ホームページの随時更新

(※)「おかしも」

- おさない
- かけださない
- しゃべらない
- もどらない

## 2 その他の取り組み

### (1) 地域育児センター事業

ア 育児相談 延べ件数 39件 (平成26年度 43件)

施設開放時・電話相談・面談等

イ 子育て家庭交流事業

#### ① 園庭開放

園庭を開放し、地域の子育て同士の交流、相互の情報交換の場を提供し、また、保育園児との交流を図った。

#### ② 成瀬地区の子育て支援の取り組み

年4回成瀬地区の子育て支援の取り組みとして、成瀬中学校の学区にある教育機関の教職員で構成している「伊勢原市教育センター 地域教育機関等連絡協議会 Bブロック」に当園も参加。地域の挨拶運動を重点にのぼり旗を輪番で設置するなど交流を行ってきた。

ウ 中高生と園児の体験交流事業・夏期保育体験

○7月21日・22日・23日 2名

○7月28日・29日・30日 4名

○8月 4日・ 5日・ 6日 2名

○8月18日・19日・20日 3名

市内在住の中高生に、夏休みを利用した保育体験を通して、生命の大切さとともに、保育園や保育士の仕事を理解できるよう体験してもらった。

エ 世代間等交流事業

○ 6月 2日 湘南けやきの郷との交流会

湘南けやきの郷に4歳児が訪問し、利用者の方と歌・手遊びなどのレクリエーションやプレゼント交換を行い、交流を図った。

○11月16日 ケアーセンター高森荘との交流会

湘南けやきの郷と同様の交流を図った。

### (2) 一時預かり事業

利用状況 (延べ利用人数)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間合計
27年度	0	3	4	3	0	0	1	0	1	0	0	0	12人
26年度	1	1	4	12	3	1	0	0	0	0	3	0	25人

### (3) 職員研修

前年度に引き続き、気になる子どもの理解や個別対応など様々な角度から学んだ。食育、運動、睡眠、排泄について在園児に照らし合わせることで、いかに乳幼児期の成長の過程で大事であるかを再確認した。自己評価・園評価では、評価を基に研鑽していくこと、保育理念である「子どもの最善の利益」を共通理解した。

#### (園内研修)

月	日	内 容	受講人数
5	1日(金)	園内での緊急対応について(設備操作など) 相日防災	15人
5	29日(金)	救急法 (伊勢原市消防署)	25人
6	19日(金)	発達が気になる子どもへの対応 伊勢原養護学校連携支援グループリーダー 田崎 恵美子氏	13人
7	8日(水)	グループ療育・個別療育について すこやか園 大豆生田 浩子氏・伊藤 美晴氏	14人
10	20日(火)	衛生管理・健康管理 (藤木主任看護師)	13人
11	6日(金)	保護者支援・保護者対応 (前園長 澁谷 清乃氏)	13人
12	15日(火)	食育(土屋主任調理員、青沼・森下保育士)	13人
1	22日(金)	運動遊び (依田・上栗保育士)	11人
2	26日(金)	睡眠・排泄 (佐藤・高橋・青木保育士)	12人
3	1日(火)	自己評価・園評価 (主任)	13人

#### (外部研修)

月	日	場所	内 容	対象
4	11	横浜	新任保育士激励会	保育士
4	25	横浜	神奈川県保育事業大会・総会	園長 保育士
6	2	港南台	4・5歳児保育研修 6/22 計2回	保育士
6	3	港南台	新任保育士研修 2/2 計2回	保育士
6	16	伊勢原	発達支援研修会 9/15・1/5 計3回	保育士

7	6	藤沢	幼児の生活リズムの乱れの実態と改善のための方策	保育士
7	2 3	港南台	障害児保育講座 10/20 12/1 1/26 計4回	保育士
8	5	港南台	園における気になる子どもへの対応 9/9 計2回	保育士
8	2 6	秦野	食品衛生責任者講習会	調理員
1 1	6	伊勢原	保育所給食調理員研修会 3/3 計2回	調理員
1 1	1 2	伊勢原	普通救命講習	保育士
1 1	2 1	横浜	子どもの心に寄り添う保育	保育士
2	6	横浜	保育士が創るリトミック	保育士

近隣で行われる研修には積極的に職員を派遣し、職員会議において研修報告を行った。

### 平成27年度の課題に対する自己評価

- 1 子ども・子育て支援新制度の施行に伴い、園内学習会や研修等を通して、職員の資質や専門性の向上を図り、保育実践の質を高めていく。  
⇒ 市の担当者を講師に招き、子ども・子育て支援新制度を学習したほか、様々な説明会に出席することで混乱なくスタートができた。また、その内容を踏まえ保育に生かせるようにした。
- 2 子ども達の心身の発達を促し、さらに安心、安全の保育環境を整えていく。  
⇒ 保育士・看護師・調理員がそれぞれの役割の中で、保育内容、保育室・園庭遊具の点検、健康食の質、アレルギー児への対応など、園全体で安心・安全な保育環境を整えた。
- 3 職員の働きやすい環境を整え、管理職、リーダーを筆頭に職員一同、チームワークの強化に努める。  
⇒ 管理職、リーダーが密に連絡をとり問題解決できるよう努め、職員会議などを通して情報を全職員と共有した。
- 4 地域に開かれた保育園をめざし、地域交流・子育て支援を充実させる。  
⇒ 園庭開放や園見学を通し、地域の方々の子育ての悩みや相談に応じることができた。
- 5 法人35周年を記念した事業を実施する。  
⇒ プロによるマジックショーの開催及び園児に大山コマのプレゼント、職員には記念品を配布した。

## V 本厚木ふたば保育園

### 1 認可保育所 本厚木ふたば保育園

#### (1) 平成27年度園児人数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
0才	8	8	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9
1才	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13
2才	12	12	12	12	12	12	12	10	11	11	11	11
3才	12	13	13	13	13	12	12	12	12	12	12	12
4才	9	9	9	9	9	10	10	10	10	10	10	10
5才	6	6	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7
合計	60	61	63	63	63	63	63	61	62	62	62	62
26年度	55	52	55	57	56	58	56	56	55	55	55	55

#### (2) 行事

4月	1日	入園・進級式	1月	6日	新春の集い
	3日	保育説明会及び懇談会		25日	こま回し大会
5月	14日	さつまいも苗植え	2月	3日	豆まき
	29日	遠足(七沢森林公園 3歳以上)		13日	生活発表会
6月	1日～7月3日	個人面談	3月	3日	ひなまつり会
	5日	田植え(5歳)		4日	卒園遠足(3歳以上)
7月	7日	七夕の集い		12日	新入児説明会
	18日	夏まつり		18日	卒園式
9月	10日	引渡し訓練		31日	修了式
	25日	お月見会			
10月	5日	稲刈り(5歳児)			
	13日	プラネタリウム(3歳以上)			
	19日	芋ほり			
	24日	運動会			
11月	6日	みかん狩り(4・5歳児)			
	13日	遠足(荻野運動公園3歳以上)			
	20日	クラス懇談会			
12月	1日～29日	個人面談			
	4日	防犯教室			
	24日	クリスマス会			

\*各月に、誕生会、身体測定  
避難訓練などを実施

### (3) 防災

日時	訓練種別	訓練状況
4月7日 10:00～	避難訓練 (図上、地震・火災想定)	各クラスで避難・消火・通報について紙芝居などを通して話し合った。乳児クラスは保育士の動きを確認した。
5月12日 10:00～	避難訓練 (地震想定)	各クラスで防災頭巾の被り方の説明をした。避難通路までの避難訓練を行った。3・4・5歳児は園庭へ避難。
6月2日 9:30～	避難訓練 (火災想定)	園内放送をよく聴き、落ち着いて行動する訓練を行った。
6月23日 9:45～	避難訓練 (不審者対応)	不審者から子どもを離し、侵入者の目に触れないように避難した。
7月14日 9:30～	避難訓練 (火災想定)	西側非常階段の火災を想定し、放送を聞いて保育士の指示で行動した。
8月4日 14:45～	避難訓練 (地震想定)	午睡中の地震発生を想定して、訓練を行った。
9月9日 16:00～	避難訓練 (地震想定総合訓練)	警戒宣言発令を想定し、避難について紙芝居などを通して学んだ。
16:30～	引渡し訓練	16:30～17:00の時間帯に保護者対象の引渡し訓練を行った。台風のため、急きょエントランスホールでの引渡しとした。
10月6日 17:30～	避難訓練 (火災想定)	遅番の時間帯の避難を想定して対応できるようにした。園内にいた保護者も参加した。
11月10日 10:30～	避難訓練 (地震想定)	園外活動(散歩)中の避難訓練を行った。スムーズに避難でき、園に連絡できた。
12月1日 9:00～	避難訓練 (火災想定)	7階住居からの火災を想定し、放送を聴いて保育士の指示でビルの前まで避難した。
1月13日 9:45～	避難訓練 (地震(震度5)想定)	予告なしで園内放送で避難した。
2月2日 8:00～	避難訓練 (地震想定)	早番の時間帯での避難を想定して対応できるようにした。園内にいた保護者も参加した。
3月1日 9:30～	避難訓練 (火災想定)	火災現場を把握し、適切な避難ができるようにした。 (予告なし)

### (4) 広報

- 園だより、クラスだより毎月発行
- 保健だより 年4回発行
- ホームページ内の「園内イベント紹介」は、行事を行うごとに更新した。

## (5) 職員研修

### \*外部研修

4月	11日	新任保育士激励会(新任保育士)
5月	22日	発達支援コーディネーター研修(保育士2名)
6月	17日	食品衛生管理講習会(食中毒予防)(調理員1名)
	23日	ストレスマネジメント(リーダー保育士)
	25日	子ども・子育て支援新制度説明会(園長)
9月	8日	多様な動きを経験させるための指導の工夫(保育士1名)
	17日～18日	障害児保育担当者研修会(保育士1名)
10月	19日	給食における食中毒防止対策及び衛生管理について(調理員1名)
	20日	保育所等のヒヤリハット危機管理研修会(保育士1名)
	23日	乳幼児期のアレルギー対応(保育士1名)
11月	13日	発達障害について(保育士1名)
12月	17日	地域保健推進研修会(調理員1名)
1月	13日～15日	初任保育所長等研修会(園長)

### \*内部研修

8月～10月	計3回	新人研修「児童虐待」「発達障害」「大震災から学ぶ」
6月～3月	計3回	園内研修「手遊び」「絵本の選び方」「保護者対応」
10月 28日		気になる子どもの対応(伊勢原養護学校教諭)

## 2 その他の取り組み

- ① 温水ケアセンター訪問  
年長児とお年寄りの交流会を年2回行い、子ども達がソーラン節や鍵盤ハーモニカを披露した。また、けん玉やコマ回しなどの昔あそびをお年寄りと一緒に楽しんだ。
- ② 厚木看護専門学校訪問  
看護学生の手作りおもちゃで遊んだ。  
0歳児から参加でき、楽しむ事ができた。

### 平成27年度の課題に対する自己評価

- 1 認可保育所として初年度を迎え、より安定した運営をめざす。  
⇒ 入園の手続き方法など変更点が多かったが、厚木市保育課と連携を密に取りながら運営したので特に混乱はなかった。
- 2 地域の子育て拠点として認識され、より一層信頼を高められるよう努める。  
⇒ 日々の保育に追われたり、職員配置も余裕がないため、地域の子育て支援にまで及ぶことはできなかった。
- 3 子ども・子育て支援新制度の施行に伴い、職員の資質や専門性の向上を図り、保育実践の質を高める。  
⇒ 行政と連携しながら、子ども・子育て支援法を理解できるよう学習し保育に生かせるようにした。
- 4 職員の専門性を生かした保育園運営に取り組む。  
⇒ 研修等を通して職員の専門性をより向上させ、保育や保護者支援に生かせるようにした。
- 5 安心・安全な保育園運営ができるように職員が一丸となって取り組む。  
⇒ 保育士としての自覚を向上させるようにし、子ども達一人ひとりに対し丁寧に、より安心安全な保育を目指した。
- 6 法人設立35周年を記念した事業を実施する。  
⇒ 平成28年度が本園の開設5周年にあたるため、法人本部の了承を得て開設5周年記念事業として平成28年度に繰り越すこととした。

## VI げんき家

### 共同生活援助事業

#### 1 設置場所

伊勢原市桜台2-16-25 エクセル伊勢原201号 利用者 4名

#### 2 利用者に対する支援

知的障害のある者が、地域で自分らしく生きることができるよう暮らしのサポートを行い、交流、共感、体験を念頭に、利用者の立場に立ったサービスを提供した。

#### 3 ホームの1日の生活

時間	主な内容
7:00	起床 朝食
	出勤 【職場、施設、作業所など】
17:30	帰宅 (世話人と夕食づくり)
18:30	夕食 (世話人と食器片付け)
19:30	入浴 自由時間 就寝

※ 休日は、自由に過ごしていた。(帰宅、買い物、趣味嗜好の外出など)

大きな事故等もなく、利用者の地域生活に密着した支援ができた。

入居利用者2名が入院されているが、健康管理について世話人と連携を図ったので、早期対応が行なえた。

みどり園がバックアップ施設となっており、職員は世話人と協力体制のもと、土日の食事提供を行いながら利用者の状況把握に努めた。

#### 平成27年度の課題に対する自己評価

- サービス管理責任者の変更に伴い、入居者の特性を改めて把握する。  
⇒ サービス管理責任者を中心に、管理者兼世話人との連携を図り入居者の特性を改めて把握した。
- 一般就労している方の就労継続と高齢入居者の健康管理の支援を行う。  
⇒ 一般就労している利用者にはコミュニケーションをとり、就労継続がきちんに行えるようサポートした。  
高齢入居者の健康管理については、世話人と連携を図り早期対応が行えるよう支援した。
- 職員は、法人内外の研修参加を継続する。  
⇒ 法人内外の研修会情報の提供を行い、研修に参加した。また、必要に応じて、みどり園職員がフォローに入り対応した。
- 法人設立35周年を記念した事業を実施する。  
⇒ 入居者の生活の利便性向上のための器具を整備した。



## Ⅶ つくし 就労継続支援B型事業所

定員 30名 所在地 伊勢原市伊勢原3-6-7 (伊勢原スタジオ)

### 1 利用者数(月別の開所日数、1日平均利用者数)

#### 平成27年度実績

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
開所日数	26	25	26	27	24	26	27	23	24	26	25	26	25.4
在籍数	46	47	47	45	47	48	47	47	47	46	46	47	46.7
延べ利用者	564	512	578	538	466	568	583	567	553	554	585	615	556.9
平均作業工賃	15,393	12,062	12,243	12,830	14,239	11,273	12,212	11,567	15,264	12,093	12,851	13,558	12,857

#### 平成26年度実績

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
開所日数	21	21	21	22	17	19	22	20	21	19	20	22	20.4
在籍数	43	44	44	44	44	45	46	46	46	46	48	48	45.3
延べ利用者	561	554	549	567	470	550	578	491	531	507	534	601	541.1
平均作業工賃	15,122	15,263	16,146	15,783	16,958	14,469	15,372	14,563	17,512	14,508	13,930	16,193	15,516

### 2 作業内容

施設内作業

自動車部品の下加工・選別・シール貼り/化粧箱組立、セット作業、  
検針検品、段ボール組立、小型家電リサイクル解体

施設外就労

出向先の施設清掃/倉庫内での検品、仕分け、セット作業

自主事業

オリジナルカレンダー、絵葉書、手芸品等の販売、リサイクル品販売など

### 3 その他の活動

就労支援活動

SST(生活技能訓練)、一般企業に就労実績 4名(26年度 2名)

実習生受入

東海大学健康科学部看護学科、東海大学健康科学部社会福祉学科

### 4 行事

4月 1日	花見会(秦野市中央運動公園)
17日	東海大学健康科学部看護学科体験発表(東海大学伊勢原キャンパス)
5月 17日	西湘地域統一メーデーバザー(平塚市総合運動公園)
22日	スポーツ交流会(秦野・伊勢原地区 秦野市総合体育館)
6月 13日	ほっぷすてっぷバザー(サンライフ鶴巻)
26日	日帰り旅行(浅草寺・スカイツリー)
8月 5日	蕎麦打ち体験(食堂)
22日	みどり園納涼祭
25日	法人設立35周年記念(横浜ベイシェラトンホテルにて食事会)
27日	わいわいマーケット映画会(伊勢原市民文化会館)
9月 26日	伊勢原市障害者スポーツ大会(伊勢原市体育館)
10月 7日	バーベキュー大会(県精連秦野足柄上地区 表丹沢野外活動センター)
9日	ソフトボール大会(県精連 大神グラウンド)
17日 ~ 18日	道灌祭(つくし敷地内)
26日	みくるべ病院祭
11月 28日	精神保健福祉ボランティア基礎講座(当事者体験発表等 シティプラザ)
12月 3日	「障害者週間」啓発に伴う街頭キャンペーン
5日	ふれあい福祉まつり(すこやか園)
8日 ~ 9日	一泊旅行(静岡県伊豆方面)
14日	宮ヶ瀬ダムツリー見学
16日	チャリティ公演「人間になりたがった猫」(県民ホール)
17日	みどり園リサイクル販売
1月 18日	市内精神障がい者事業所合同新年交流会(シティプラザ)
2月 19日	秦野足柄上地区ブロック交流会(ボーリング大会)
22日	梅見会(別所梅林)
27日	おおやまみち梅まつり販売会
3月 2日	春色フェスタ
12日	あいぽっけ食事会(あまぞん館)

※ その他、絵手紙教室、街頭募金、クリスマス会、初詣など

### 5 防災

日 時	訓練種別	訓練状況
9月12日	避難訓練(地震想定)	混乱なくスムーズに避難できた。
1月18日	避難訓練(火災想定)	混乱なくスムーズに避難できた。

## Ⅷ アトリエ ヴェルデ

定員 20名 所在地 伊勢原市田中70-5 サンライトオアシス101.201

### 1 利用者数(月別の開所日数、1日平均利用者数)

#### 平成27年度実績

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
開所日数	22	23	22	23	22	22	23	20	23	23	21	23	22.3
在籍数	11	12	12	12	11	11	11	12	12	12	12	13	11.8
1日平均利用者数	8.31	9.3	10.5	9.82	8.22	8.54	8.34	8.04	8.8	8.7	9.9	8.17	8.9
平均作業工賃	13,023	12,925	14,275	14,906	11,768	12,934	12,954	13,060	13,697	13,888	13,881	12,729	13,351

#### 平成26年度実績

在籍数	7	7	7	7	7	7	7	10	10	10	9	9	8.1
1日平均利用者数	6.36	6.52	6.5	6.26	5.6	5.68	5.34	6.76	7.27	7.04	7.85	7.54	6.6
平均作業工賃	15,450	16,167	15,814	16,360	12,310	13,157	13,757	10,365	12,165	11,910	13,358	13,916	14,402

※8月、12月に別途賞与を支給

### 2 作業内容

施設内作業 クリーニング作業、ボールペン組み立て、化粧箱組立、ダンボール組立

### 3 その他の活動

実習生受入 伊勢原養護学校実習生受入  
七沢学園実習生受入

### 4 行事

5月 9日(土)	ふれあいフェスティバル
6月 25日(木)	日帰り旅行
7月 9日(木)	暑気払い
9月 3日(木)	防災訓練(防災センター見学)
9月 5日(土)	保護者会
9月 26日(土)	伊勢原市障害者スポーツ大会
10月 8日(木)～10月 9日(金)	一泊旅行(群馬県伊香保温泉)
12月 24日(木)	忘年会
2月 4日(木)	防災訓練
3月 5日(土)	保護者会
3月 31日(木)	お花見

### 5 防災

日 時	訓練種別	訓練状況
9月5日	避難訓練 (地震想定)	混乱なくスムーズに避難できた。訓練後神奈川県総合防災センターを見学した。
2月4日	避難訓練 (火災想定)	混乱なくスムーズに避難できた。

#### 平成27年度の課題に対する自己評価

- 1 利用者の作業能力を見極め、能力にあった仕事、安定的な収入が得られるような仕事を探す。  
⇒ 平成27年度に新しい取引先を1件開拓したが、不定期な作業で安定的な収入には至らなかった。
- 2 利用者の人数と作業量を調整し安定した作業を提供できるようにする。  
⇒ 各取引先のご理解により安定した作業量が確保できた。
- 3 施設の健全かつ安定的な運営が図れるよう努める。  
⇒ 平成27年度2名の利用者が退所になり年度当初の利用者数のまま増員できなかったため安定的な運営が図れていないので、養護学校や近隣の施設と連絡を取りながら利用者の確保に努めた。
- 4 法人設立35周年を記念した事業を実施する。  
⇒ 12月24日に利用者の意見をもとに伊勢原のシダックスのパーティールームで食事会とカラオケを楽しみ35周年記念の行事とした。

## IX つくし相談室

### 相談支援事業

1 開所日数 267日（H26：268日）1日平均相談件数 26.5件（H26：30.5件）

### 2 相談実績

#### （1）相談実人数（障害者手帳による区分）

	身体障害	重度心身障害	知的障害	精神障害	発達障害	高次脳機能障害	その他	総数
27年度	22	0	77	159	0	0	4	262
26年度	18	0	76	180	1	0	0	275

#### （2）相談登録者数

	身体障害	重度心身障害	知的障害	精神障害	発達障害	高次脳機能障害	その他	総数
27年度	22	0	112	176	0	0	28	338
26年度	25	0	96	195	7	3	8	334

#### （3）支援件数

	訪問	来所相談	同行	電話相談	電子メール	個別支援会議	関係機関	その他	総数
27年度	608	812	182	3,643	4	73	1,761	0	7,083
26年度	565	966	142	3,301	8	94	3,107	0	8,183

#### 主な支援内容

- ・福祉サービスの利用に関する支援（サービス等利用計画） 3,721件
- ・健康医療に関する支援 1,402件
- ・就労に関する支援 355件
- ・その他合計 1,605件

### 3 相談実績の分析とその対応

26年度と比較して相談実人数と支援件数が減少しているが、相談実人数については施設入所者のサービス等利用計画の作成が26年度に終了したことなどによる減少、支援件数についてひとつの相談事例に対し複数の関係機関等との調整をそれぞれ別にカウントする方法から、相談受付から複数の関係機関等との調整までの一連の流れを1件とカウントする方法に変更したことによる減少であるが、実態としては安否確認などの訪問、医療機関や行政機関・関係機関への同行などアウトリーチ的な支援は増加傾向にあり、支援時間も26年度と比べて約200時間増加している。

このため相談業務を円滑に執行するため、相談室に事務職員を置き4人体制とした。

#### 平成27年度の課題に対する自己評価

- 1 サービス等利用計画作成に伴う計画相談及び一般相談の件数の急増への対応  
計画件数の増加に対して、適切かつ丁寧な支援のため次の対策を講じる。

（1）職員同士の事例の共有化や計画作成などの事務業務に専念するため、相談支援専門員の事務日の設定などスケジュール管理の見直しを行う。

⇒ 相談支援内容の記録入力をする事務員を雇用することで相談業務に専念でき、業務の改善が図られたほか、計画作成などの事務業務に専念する「事務専念日」を設けたことで、相談業務との相互負担を減らすことができた。また、相談員同士の互いのスケジュール、利用者の特性を話し合う時間を設けた。

(2) 原則として相談は予約制、時間内対応とし、関係部署にも周知を行う。

⇒ 相談に関しては、本人家族に関わらず、就労している等の特殊な事情がない限り、時間内での対応を行うようにした。また緊急時以外予約なしで来所した場合は、きちんと時間を確保してご相談を受けたいと説明し、別日に予約を設けるようにした。関係機関との連絡調整は、想定外のことも起こるので、時間内のみでの対応というのは困難な状況であった。

以上の対策を講じることにより次の成果があった。

- (1) 事務に専念できる時間、相談支援を行える時間が明確になった。
- (2) 相談支援に対しても、相談員同士で利用者の支援状況を把握し合い、担当者不在でも対応できるなどの適切かつ丁寧な支援が迅速に行えるようになった。
- (3) 予約制にすることで、「都合が悪い場合は日時変更の連絡をする」等の自己の判断能力やコミュニケーション能力等が向上する利用者も複数いた。
- (4) 職員の超過勤務時間を昨年度と比較し120時間以上減らすことができた。
- (5) 計画相談だけでなく一般相談も含めた相談の増加に関し、市障害福祉課ともワーキンググループを発足し、市内の相談支援事業所とも今後の対応について協議を開始した。

## 2 関係機関との連携強化

問題の多寡に限らず様々な相談事例が増えており、より多くの他機関と連携し、利用者の問題点を多くの視点で検討し、より良いサービスを提供できるようにする。

⇒ 虐待事例など対応の困難な利用者に関しては、市役所等に相談し、会議を行うなど迅速な対応を図った。また手厚い支援体制が必要な利用者の場合は、複数の事業所とサービス担当者会議を実施して対応した。

## 3 啓発活動の推進

うつ病、自殺対策など精神障害に関連する事柄が社会的にも大きな問題になっている。今後相談室として精神疾患の増加傾向の分析や初期対応の啓発活動等を行う。

⇒ つくし相談室としては、啓発活動は行っていないが、多くの関係機関の出席する自殺対策会議や協議会等で伊勢原市や圏域の状況を把握するほか、相談支援事業所としての現状を発信して対応検討を促した。

4 新たに第二種社会福祉事業である生計困難者に対する相談支援事業を4月1日から開始するとともに、円滑な運営に努める。

⇒ 利用者の状況に応じて、支援対象者か否か県社協担当者とは相談・確認作業を行いつつ事業運営に努めたが、当該事業の対象者には至らなかった。なお、県社協が実施する総会・研修事業は、事業の現状把握のために必要に応じて出席した。

5 法人設立35周年を記念した事業を実施する。

⇒ 就労継続支援B型事業所つくしと合同で「横浜ベイシェラトンホテル」にて会食会を行った。

## X 施設間連携室

### 1 設置場所

伊勢原市粟窪605-1

### 2 事業内容

マイクロバスによる利用者の送迎・各施設への貸し出し調整等

### 3 実績報告

年月日	件名	貸出物品	貸出先
27. 4.17	プラネタリウム見学	三菱マイクロバス	伊勢原ふたば保育園
27. 5. 9	ふれあいフェスティバル	キャラバン・綿菓子機	清川ホーム
27. 5.11	さつま芋苗植え(みどり園)	三菱マイクロバス	伊勢原ふたば保育園
27. 5.14	さつま芋苗植え(みどり園)	三菱マイクロバス	本厚木ふたば保育園
27. 5.29	遠足(七沢森林公園)	三菱マイクロバス	本厚木ふたば保育園
27. 6. 2	地域交流会(湘南けやきの郷)	日産マイクロバス	伊勢原ふたば保育園
27. 6. 5	遠足(三千公園)	日産マイクロバス	伊勢原ふたば保育園
27. 6. 8	田植え(加藤花園)	三菱マイクロバス	本厚木ふたば保育園 伊勢原ふたば保育園
27. 6.25	日帰り旅行	三菱マイクロバス 日産マイクロバス	つくし アトリエ ヴェルデ
27. 8.25	35周年記念行事	三菱マイクロバス	つくし・つくし相談室
27.10. 7	バーベキュー	三菱マイクロバス	つくし
27.10. 9	稲刈り(加藤花園)	三菱マイクロバス	伊勢原ふたば保育園 本厚木ふたば保育園
27.10.15	さつま芋掘り(みどり園)	三菱マイクロバス 日産マイクロバス	伊勢原ふたば保育園
27.10.16	道灌祭り	テント・椅子・延長コード	つくし
27.10.19	さつま芋掘り(みどり園)	三菱マイクロバス	本厚木ふたば保育園
27.10.27	園外保育(ほうさいの丘公園)	三菱マイクロバス	伊勢原ふたば保育園
27.10.29	園外保育(江ノ島水族館)	三菱マイクロバス	伊勢原ふたば保育園
27.10.30	園外保育(わんぱくランド)	三菱マイクロバス	伊勢原ふたば保育園
27.11. 6	みかん狩り(米山宅)	日産マイクロバス	本厚木ふたば保育園
27.11.13	遠足(荻野運動公園) インフルエンザ予防接種	三菱マイクロバス 日産マイクロバス	本厚木ふたば保育園 つくし
27.11.16	地域交流会(高森荘)	三菱マイクロバス	伊勢原ふたば保育園
27.11.27	園外保育(三千公園)	日産マイクロバス	本厚木ふたば保育園
28. 1.22	地域交流会(石田小)	三菱マイクロバス	伊勢原ふたば保育園
28. 2. 5	園外保育(防災センター)	三菱マイクロバス	伊勢原ふたば保育園
28. 3. 4	遠足(ズーラシア)	日産マイクロバス 三菱マイクロバス	本厚木ふたば保育園 伊勢原ふたば保育園

マイクロバス送迎の調整については、各事業所がきちんと予定表を作成したことにより、スムーズに対応することができた。

連携室専従職員が増員されたため、各事業所の予定に沿ってマイクロバス運転等に従事することができた。また、各施設の小修繕等の応援体制も確立することができた。

保育園の職員がマイクロバスの運転免許を取得し、運転に従事するようになったので、さらにマイクロバス運行計画も組みやすくなった。

### 平成27年度の課題に対する自己評価

- 1 マイクロバスによる利用者の送迎や法人内各施設へのマイクロバスの貸出などを行うとともに、みどり園花壇農園での保育園児によるさつま芋掘りの手伝い等を中心に行なう。  
⇒ みどり園花壇農園での保育園児によるさつま芋掘りの手伝いは予定どおり行えた。  
マイクロバス送迎の調整については、各事業所がきちんと予定表を作成したことによりスムーズに対応することができた。
- 2 開設後2年目の本年度は、連携室専従の職員を配置し、体制を強化したので各施設で必要とする小修繕や花壇の手入れ等の施設運営への応援を拡充する。  
⇒ 施設間連携室専従職員が増員されたため、各事業所の予定に沿ってマイクロバス運転等に従事することができたほか、各施設の小修繕等の応援体制も確立できた。
- 3 必要に応じて、ボランティア運転手の開拓を行う。  
⇒ 保育園の職員がマイクロバスの運転免許を取得し、運転に従事するようになったので、さらにマイクロバス運行計画も組みやすくなった。